

## 『JUNTO CLUB』の発刊について

佐藤 允昭

西日本図書館学会大分県支部会誌『JUNTO CLUB』がようやく刊行されることになりました。お忙しい中を幾度となく集まって、編集作業を重ねてこられた升巴捨子先生をはじめ編集委員のみなさんご苦勞様。ありがとうございました。

ところで、『JUNTO CLUB』という誌名の由来について簡単に説明させていただきます。1731年にベンジャミン・フランクリンを中心に設立されたフィラデルフィア図書館会社のことはご存じでしょう。この図書館の基盤となったのがジャントークラブなのです。設立の経緯については川崎義孝先生の『アメリカ公立図書館成立思想史』に詳しいのですが、会員は当初12人ほどで、「正規の教育は受けていないが、知的な興味は高く、読書好き」であったとあります。このクラブの勉強会の中からフィラデルフィア図書館会社生まれ、その後の公立図書館の成立に影響を与えることになったのです。「会誌の名称をどうしましょう」と編集委員の甲斐さんから相談を受けたとき、とっさに頭に浮かんだのがジャントークラブでした。このような由緒ある名前を借用するのはいささか面はゆいのですが、名前負けしないようにりっぱな会誌に育てようではありませんか。今後のご協力をお願いいたします。



ベンジャミン・フランクリン  
(Benjamin Franklin, 1706-90)